

第1回 カミワンセミナーを行いました（2026/4/19）

テーマ：イオン防災環境都市創生共同研究部門、災害科学
会場：イオンモール仙台上杉4階 KAMISUGI ONE PARK

令和8年4月19日（日）午前11時から、イオンモール仙台上杉4階のKAMISUGI ONE PARKにて、第1回カミワンセミナーが開催されました。本セミナーは東北大学災害科学国際研究所共同研究部門、イオンモール株式会社、イオン環境財団の共同研究の取り組みの一環として実施したものです。防災・環境をはじめとする地域とつながりながら、歴史の継承や緑化といったテーマを、身近な場所で継続的に学び・考える機会をつくることを目的としています。

講演者の今村文彦教授（津波工学研究分野）は、仙台の上杉地域と東北大学の産学連携活動およびレジリエント・コミュニティ創生に向けた取り組みについて講演しました。具体的内容としては、商業施設を単なる「ショッピングエリア」として留めるのではなく、災害時の避難場所や地域防災情報の発信拠点として機能させる「施設の防災拠点化」を図る重要性について言及し、デジタルサイネージや館内放送の活用によって、買い物客や地域住民の防災意識を平時から自然な形で高める「防災啓発の日常化」の有効性を指摘しました。また、防災訓練・防災マップの配布・活用を通じて地域住民が災害リスクを正しく理解し、備えを強化する機会を提供することの重要性について説明し、さらに、商業施設が地域社会と日常的に密接に関わることで「平時の賑わい」と「災害時での安心」を両立させること、そして住民・自治体・企業・研究機関が連携し、災害に対して個々人が孤立しない「共助のネットワーク」を地域全体へ広げることの意義を強調しました。

会場には幅広い世代の地域住民から海外の専門的な研究者まで、40名を超える聴講者が集まり、活発な発言や質疑応答が行われました。

本セミナーは偶数月に開催する計画で、今回は6月20日開催を予定しています。



講演時の様子
今村文彦教授



講演中の会場の様子